

山林を諦めない 森林を価値ある山に 組合が提案します



組合長挨拶

組合員の皆様には、日頃から組合運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、このたび新たに総代・参与員に就任された皆様には、令和11年3月31日までの3年間、地域の組合員と組合をつなぐ重要な役割を担っていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

去る5月27日には第45回通常総代会を開催いたしました。令和7年度決算では、過去10年間で最高となる経常利益を計上することができました。これも組合員の皆様をはじめ、県、市町村、関係機関の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

一方で、組合経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。このため、令和8年度から令和12年度までの5年間で「経営安定継続期間」と位置付け、単年度黒字の継続とキャッシュフローの改善による財務基盤の強化に取り組んでまいります。あわせて森林整備や森林経営計画の策定等を通じて組合員や市町村との連携を一層強化し、受託事業の拡大による森林整備を積極的に進めてまいります。

近年は山林所有者の世代交代が進む一方で、若い世代を中心に森林への関心が薄れ、「山離れ」が課題となっています。こうした状況の中、組合では地域の豊富な広葉樹資源に着目し、循環型林業の実現と広葉樹林業の再生に取り組んでいます。優良広葉樹の育成・活用による高付加価値木材の生産・販売を進めるほか、「エネルギーの森」実証事業を通じて、間伐材や林地残材を活用した木質チップの低コスト生産の可能性を検証しています。さらに、森林のCO2吸収量を活用するJ-クレジット制度に参画し、森林整備によって創出したクレジットの一部を森林所有者に還元できる仕組みづくりを進めています。また、技術革新の進展により、木材は建築材としてだけでなく、液体燃料やバイオプラスチックなど新たな素材としての利用も期待されています。将来的にはこうした分野への原料供給も視野に入れながら、組合員の皆様の森林資源を有効に活かし、林業の成長産業化と高付加価値化を目指してまいります。

これらの取組みにより組合員の皆さんの山を活かし、森林資源の多面的・循環的な活用を進めることで、林業の成長産業化や市場価値の高い産業への転換を図るとともに、2050年カーボンニュートラルの実現や脱炭素社会の形成にも貢献していきます。

今後も組合が地域林業の中核としての役割を十分に発揮し、組合員や地域から信頼される組織づくりを進めるとともに、職員が安心して働き続けられる職場環境の整備にも努めてまいります。また、経営上の課題である補助金等に係る負担軽減についても、組合員の皆様にご理解をいただきながら、引き続き県へ要望してまいります。

最後に組合員ならびにご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。

北アルプス

森林組合だより

JForest

北アルプス森林組合

大町市平 10788-1

電話 0261-22-0711

FAX 0261-22-4380

E-mail: alpstfa@
jforest-kitaalps.jp

令和8年7月発行



長野県SDGs推進企業
に登録されています



代表理事組合長
割田 俊明

第45回通常総代会を開催しました

去る令和8年5月27日、大町市サン・アルプス大町において、第45回通常総代会を開催しました。

来賓に北アルプス地域振興局松島副局長様など8名をお迎えし、出席総代55名、書面出席118名により、平林寛也議長のもと令和7年度事業報告および決算ならびに令和8年度事業計画、令和8年度～12年度の事業経営計画、補助金返還等支払計画について審議いただき、いずれも原案どおり承認、決定されました。

※組合員の皆様は当組合事務所の窓口で総代会資料をご覧ください。



【令和7年度事業報告】

令和7年度は、8団地の森林整備や公共団体が発注する造林事業、森林病虫害防除事業、木質バイオマスチップの製造販売のほか、国立研究開発法人の助成を受け木質バイオマス燃料の安定的・効率的な供給に関する実証事業に取り組みました。

【令和7年度及び過去3年間の決算状況】

(単位：千円)

区 分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般事業	指導部門	収益	994	1,696	1,315	616
		費用	3,054	2,011	1,926	1,525
	販売部門	収益	50,039	42,823	46,653	49,540
		費用	27,543	31,964	29,252	17,674
	加工部門	収益	17,374	40,146	44,835	57,585
		費用	33,506	43,079	51,088	54,931
	森林整備部門	収益	155,646	263,061	222,387	212,680
		費用	113,837	184,730	177,715	148,988
	森林経営部門	収益	3,643	0	9,999	21,818
		費用	1,316	18	3,026	1,029
事業総利益			48,440	85,924	62,182	118,093
事業管理費			74,820	74,868	77,778	84,396
事業利益 (損失)			-26,380	11,056	-15,596	33,696
事業外損益	収益	3,280	3,345	820	1,926	
	費用	2,881	2,591	2,588	3,156	
経常利益			-25,981	11,811	-17,364	32,466
特別損益	収益	2,105	300	9,767	132,038	
	費用	100	60	9,612	131,746	
税引前当期利益			-23,976	12,051	-17,209	32,758
法人税及び住民税			-183	-183	-183	-183
当期剰余金 (損失金)			-24,158	11,868	-17,392	32,576
前期繰越損失金			-995,068	-1,019,226	-1,007,358	-1,024,750
当期末未処理損益金			-1,019,226	-1,007,358	-1,024,750	-992,175

【販売部門】

森林整備により伐採した木材の受託販売や、治山事業にともなう木材の買取販売が増加し、計画を上回りました。

【加工部門】

熱利用施設や市内の大型工場に加え、新たに温泉施設への木質チップの供給を開始したことにより、黒字化しました。

【森林整備部門】

組合員の皆様から委託を受け、主伐・再造林に重点をおいた森林整備を積極的行いました。

【森林経営部門】

組合所有林で特別な需要があったこともあり、当初計画を上回る黒字となりました。

【令和8年度事業計画】

- これまでの事業経営計画の実績から見てきた各部門の課題を整理し、それを解決、克服しながら事業を計画的に進めます。売上目標を3億5,000万円、経常利益を1,000万円と設定し、策定したアクションプランによる進捗管理で確実な収益確保を図ります。
- 令和8年度から12年度までを「経営安定継続期間」とし、通常総代会で決定した事業経営計画及び補助金返還等支払計画に基づき、安定した黒字経営を目指します。また、多額の補助金返還等の債務が経営の大きな負担となっているため、引き続き県に対し補助金返還等の債務減免を粘り強く要請するとともに、県以外の関係者へも軽減を求めてまいります。

新たな5年間の事業経営計画及び補助金返還等支払計画を県に提出しました

補助金不適正受給に伴う補助金等の支払いについては、危機的状況にあった組合の再生を図るため、平成29年度に事業経営計画及び補助金返還等支払計画を策定し、経営状況や社会、経済情勢を分析して5年ごとに見直しを行うとの方針に基づき、第2期の令和7年度まで取り組んできました。

続く令和8年度から12年度までの第3期事業経営計画については、令和7年1月から5回にわたり外部有識者等による見直し検討委員会を開催するなど慎重に進め、引き続き経営の安定化のための財務基盤の強化を図れるよう、これまでの計画の「経営安定期間」を5年間延長し「経営安定継続期間」とする計画を作成しました。

新たな補助金返還等支払計画は、5年間の収支計画をもとに支払可能額の試算及び借入金返済、キャッシュフローや財務状況を総合的に勘案し、5年間の総支払額や年度ごとの支払額を定めた計画を作成しました。

この計画は5月27日の第45回通常総代会において長野県への提出を承認いただき、6月8日、長野県庁において、組合長ほか7名の理事出席のもと林務部長に直接手渡し、詳細な説明を行いました。

また、林務部長と意見交換を行い、今後の計画の実行に向けた課題解決の方向性を県と共有しました。あわせて、組合が今後も安定して経営が継続できるよう負担軽減を改めて要望しました。

【新たな事業経営計画及び補助金返還等支払計画】

(単位：千円)

区 分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
事業総損益	収益	350,326	344,904	350,136	358,971	368,594
	費用	258,330	249,931	256,729	260,899	268,402
事業管理費		79,759	80,413	81,073	81,741	82,414
事業外損益		-1,989	-1,676	-1,435	-1,194	-952
経常利益（見込）		10,248	12,885	10,899	15,137	16,826
補助金返還等 支払予定額		9,000	9,000	10,000	13,000	14,000

○ 新たな計画の基本的な考え方

ア これまでと同様に5か年ごとに見直しを行うことを基本とし、令和8年度から令和12年度までの5か年を計画しました。

イ 現預金を確保しつつ、今後の事業展開に必要な設備投資等に係る借入金の早期完済を優先するため、第2期計画(令和3年度～7年度)より抑えた支払額としました。

【令和3年度から令和7年度までの補助金返還等支払実績】

(単位：千円)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常利益	収益	10,215	10,750	16,070	18,960	21,290
	費用	21,107	-25,981	11,811	-17,364	32,466
補助金返還等 支払額	収益	10,000	10,000	13,000	14,000	15,000
	費用	10,020	10,024	13,000	14,002	15,000

○ 赤字決算であっても計画に沿った額を支払ってきたため、運転資金の確保に苦慮することもありました。

新しく総代・参与員になられた方をご紹介します

任期は3年間(令和8年4月1日から令和11年3月31日まで)です。組合員と組合、役員を繋いでいただく大切な役割を担っていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(敬称略)

総 代																										
大町市平			遠山 洋 西沢 一郎 西澤 礼子 傘木 徳実 傘木 秀樹 平林 茂隆 松井 照正 長澤 健二 中藤 井徹 吉澤 国雄 矢口 嶋強 工藤 倉一 新井 英俊 傳刀 修司 宮崎 郁生 宮坂 芳広 宮坂 文夫 太谷 春花 西沢 誠文 西澤 義市 平林 英雄 荒山 大徹			驚澤 恒夫 松井 栄一 津滝 能充 松田 邦正 小林 治男 山崎 昭一 窪田 武雄			山下 則男 倉科 昭二 藤巻 秀卓			大山 博真 中山 広見 山崎 泰浩 野澤 浩優 立澤 勇一 和宮 洋一 荒井 満亮 矢口 光二 竹内 憲章 浅田 寛典 綱島 章雄 片瀬 矢口 伊藤 金寿 山崎 名材 村澤 守茂 藤松 窪吉 荻倉 科英 山崎 英男			白馬村神城			横澤 英紀 横沢 沢清 横澤 幸一 福島 政男 福澤 良夫 松澤 善信 山本			小谷村			山本 彦志 諸角 一昌 伊藤 健敏 松澤 敏夫 横澤 誠司 山田 高司 山崎 實和 松澤 守健 小林 久志 山田 信男 吉澤 秀勝 清水 尚平 今井 幸一 相澤 唯寛 藤岡 寿之 岡島 正茂 花宮 武登 徳澤 充幸 岡深 国正 千澤 幸隆		
大町市大町			金原 健次 黒岩 良介 吉田 厚元 伊藤 彰一 長澤 安志 荒井 徹基 宮脇 成夫 平林 幸敏			大町市社			大町市美麻			池田町			堀田 博明 北條 忠一			白馬村神城			小谷村					
大町市八坂			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城			小谷村					
大町市大町			坂井 義輝 小林 清			大町市社			大町市常盤			池田町			松川村			白馬村北城								

組合の新たな挑戦 ～広葉樹材の活用に向けた取り組み～

NEDO事業

テーマ① 新たな燃料ポテンシャル(早生樹等)を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業

本テーマでは、旧薪炭林の短伐期燃料材生産モデルを積雪寒冷地域でも20年以内に確実に循環できる手法を確立するとともに、作業時の生産性を調査して低コスト高生産性の萌芽更新手法を開発することを目的としています。

2025年度は1年前に伐採した切株の萌芽調査を実施し、根株径や根株形などの条件と資源量の関係性を検証しました。2026年度以降は、萌芽調査の継続と芽かきの有無による萌芽更新の確実性・経済性を2028年度まで組合所有林(大町市大町居谷里)で検証していきます。



テーマ② 木質バイオマス燃料の安定的、効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業

本テーマでは、地域森林資源の7割を占める広葉樹、燃料用チップとして利用していなかった林地枝条や剪定枝を実用的な燃料チップにする手法の開発を目的としています。

2025年度は「木質チップ粒度の最適化」「チップの乾燥技術の確立」の実証試験を実施しました。

【木質チップ粒度の最適化】



□導入したシービング装置により良質チップの生産量が約1.5倍に向上

【チップの乾燥技術の確立】

① 温泉熱利用による乾燥

- 大町市の未利用温泉熱を利用
- 短期間で乾燥可能(夏季は1日)



② バイオマスシートによる乾燥

- 透湿防水効果のある特殊シート使用
- 乾燥原理は微生物の発酵熱
- 短期間で乾燥可能(夏季は1箇月)



森林組合の事業の様子

森林整備事業（白馬村堀之内）

令和7年度は白馬村において約3.18haの範囲で樹種転換(皆伐)および間伐を実施しました。



作業前



伐 採



集材・造材



地拵え



植 栽



作業後

獣害対策事業



Before



After



Before



After

全国的に野生動物による被害が深刻化しており、北アルプス地域でも対策が求められています。当組合では野生動物との共生を目指し、市町村と協力しながら森林整備や緩衝帯整備事業に取り組みました。



地元企業と進める森林づくり

令和7年5月、大町市立ち合いのもと森林所有者の関電不動産開発株式会社、認定NPO法人 環境リレーションズ研究所、北アルプス森林組合の3者で「関電不動産開発くろよんの森」の整備協定を締結しました。

同年9月から伐採を開始し、同年10月には第1回植樹式を行いました。



森林組合の事業の様子

スマート林業(ドローン活用)

当組合では令和3年度にドローンを導入し、各現場で様々な調査業務に活用しています。今回は活用事例を2つ紹介します。



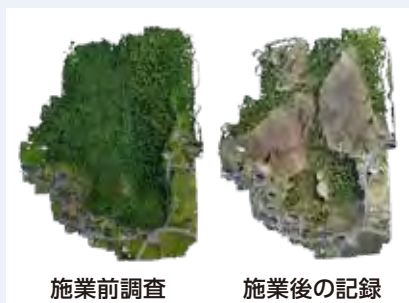
【①松川村 病虫害被害木調査】

①病虫害被害木調査

松川村では松くい虫(マツノザイセンチュウ)被害木の防除事業を実施しており、被害木調査に活用しています。従来は地上からの目視確認が中心でしたが、ドローンの活用で上空から広範囲を効率的に調査できるようになりました。また、被害木の位置を正確に把握でき、防除作業の効率化に繋がっています。

②森林整備予定地での森林調査

ドローン撮影した画像の結合で高解像度の航空写真ができます。この写真を活用して森林整備予定地の樹種分布や立木状況を正確



【②森林調査】

に把握することができるようになりました。地上の調査だけでは確認が難しい状況を広い視点で把握できるため、効率的で精度の高い調査や施業計画の立案に役立っています。今後もドローンなど新技術を活用して森林整備の効率化と品質向上に努めていきます。

地域学習への協力

令和7年度は、大町中学校の職場体験およびSDGs探究学習の受入れを行いました。

職場体験では、座学と現場見学を実施しました。座学では当組合の事業内容や取組、林業の役割について学び、現場見学では搬出間伐の作業現場において、林業機械が稼働する様子を見学しました。いずれも普段の学校生活では触れる機会のない内容であり、生徒の皆さんは興味を持って積極的に取り組んでいました。また、大町中学校の職場体験では「生涯学習」をテーマとしていることから、生徒の皆さんからは「なぜ森林組合で働いているのか」「なぜ林業を仕事に選んだのか」といった質問が多く寄せられ、職員との意見交換も活発に行われました。

SDGs探究学習では、25名の生徒を対象に森林組合が提供する体験プログラムを実施しました。プログラムでは、座学を通じて森林組合や林業について理解を深め、その後、製材所の見学と作業体験を行いました。製材所見学では、山から運ばれてきた丸太が製材され、木材へと加工される工程を見学しました。生徒の皆さんは、加工されたばかりの木材に触れながら、木の香りや木目を楽しみ、木材の魅力を体感していました。作業体験では、クサビとカケヤを使って丸太を縦に割る作業に挑戦しました。グループごとに作業時間を計測し、タイムアタック形式で競い合うことで、楽しみながら木材の特性や作業の難しさを学びました。初めての体験に苦戦する場面も見られましたが、仲間と協力しながら意欲的に取り組んでいました。体験後は、実際に割った木材を観察しながら、木の素性(性質や癖、特徴)について学習しました。同じ樹木であっても、その素性によって適した用途が異なることを学び、木材が様々な場面で活用されていることへの理解を深めていました。



組合員の皆様へのお願い

組合員情報変更届出のお願い

当組合では組合員名簿の適正な管理に努めておりますが、相続による名義変更や転居等のご連絡をいただけない場合、組合からの重要なお知らせが届かないなど、組合員の皆様にご不便をおかけすることがあります。そのため、次のような変更が生じた場合は当組合までご連絡くださいますようお願いいたします。

●組合員の方がお亡くなりになり山林を相続した



「組合員相続加入申込書」の提出をお願いします。
名義変更後は「出資証券」を再発行します。

また、相続した場合は法務局での登記手続きも必要となり、法令では相続後3年以内の実施が義務化されています。

●引っ越し等により住所を変更した



「住所変更届」の提出をお願いします。

森林の売買や贈与などで所有者が変更になった場合や電話番号を変更した場合もご連絡ください。

正確な組合員情報の管理は、森林経営や各種事業のご案内、総代選挙、出資金管理等を円滑に行うために必要となります。

詳しくは北アルプス森林組合総務課までお気軽にお問い合わせください。

森林経営計画策定にご協力ください

当組合では森林整備を計画的に進めており、大町市、池田町、松川村、白馬村で9団地の計画策定が完了しました。また、白馬村幸田地区など数か所の計画策定を進めています。組合員のみなさまには、森林経営計画の策定を進めるための境界確認や所有山林に関する情報提供などご協力をお願いいたします。

また、森林整備を希望される方は北アルプス森林組合企画調査課までご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ

北アルプス森林組合 総務課・企画調査課 0261-22-0711

今年の新規採用職員、作業員の紹介



左から成沢さん、二瓶さん、大下さん

昨年9月以降、新たに3名の仲間が加わりました。

大下さん

横浜から移住。造林保育の現場で働く緑の雇用1年生。
自然に囲まれて楽しく働いています！

二瓶さん

千葉から移住。造林保育の現場で働いています。
セカンドキャリア頑張ります！

成沢さん

大町市出身。職員として組合に戻ってまいりました。
地域の森づくりに貢献できるよう頑張ります！

林業は自然の中で体を動かし、未来の森を守るとてもやりがいのある仕事です。

経験のある方に限らず、林業に興味のある方は森林組合で働いてみませんか？